

集合 $\{3m + 5n \mid m, n \text{ は自然数}\}$ の要素でない自然数のうち、最大のものは $\boxed{7}$ である。

(23 関西大 全学日程 理系 2月7日 4(5))

【答】

⑦
15

【解答】

l を集合 $\{3m + 5n \mid m, n \text{ は自然数}\}$ の要素とすると

$$3m + 5n = l \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

が成り立つ。特殊解として

$$3 \cdot (2l) + 5 \cdot (-l) = l \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

が成り立つ。①, ② の辺々を引くと

$$3(m - 2l) + 5(n + l) = 0$$

$$\therefore 3(m - 2l) = -5(n + l)$$

3 と 5 は互いに素であるから $m - 2l = 5k$ (k は整数) と表すことができ、このとき、 $n + l = -3k$ となる。

$$\begin{cases} m = 2l + 5k \\ n = -l - 3k \end{cases} \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

である。③ を満たす自然数 m, n が存在する条件は

$$\begin{cases} 2l + 5k > 0 \\ -l - 3k > 0 \end{cases} \quad \text{を満たす整数 } k \text{ が存在する} \quad \cdots \cdots (*)$$

ことであり

$$\begin{cases} 2l + 5k > 0 \\ -l - 3k > 0 \end{cases} \quad \iff \quad -\frac{2l}{5} < k < -\frac{l}{3}$$

であるから、 $\left(-\frac{l}{3}\right) - \left(-\frac{2l}{5}\right) > 1$ ならば、(*) が成り立つ。整理すると

$$\frac{l}{15} > 1 \quad \therefore l > 15$$

すなわち、16 以上の整数 l に対して、① を満たす自然数の組 (m, n) は存在する。

次に、 $3m + 5n = 15$ $\cdots \cdots \textcircled{4}$ について調べる。

$$3m = 5(3 - n)$$

3 と 5 は互いに素であり、 $m = 5k'$ (k' は整数) と表すことができる。このとき、 $3 - n = 3k'$ となる。

$$\begin{cases} m = 5k' \\ n = 3 - 3k' \end{cases} \quad \cdots \cdots \textcircled{4}'$$

である。④' を満たす自然数 m, n が存在する条件は

$$\begin{cases} 5k' > 0 \\ 3 - 3k' > 0 \end{cases} \quad \text{を満たす整数 } k' \text{ が存在する}$$

ことであるが

$$\begin{cases} 5k' > 0 \\ 3 - 3k' > 0 \end{cases} \iff 0 < k' < 1$$

であり、整数 k は存在しない。すなわち、④ を満たす自然数の組 (m, n) は存在しない。

よって、集合 $\{3m + 5n \mid m, n \text{ は自然数}\}$ の要素でない自然数のうち、最大のものは

15

……(答)

である。